

錦糸町わくわく通信

2024.3

(2月29日発行)

第44号

●お問合せ●
東都よみうり新聞社
TEL.03-6663-9010

駅近のお花見スポットで春を満喫

錦糸公園 桜まつり

3月9日(土)～4月14日(日)

【場所】 錦糸公園(墨田区錦糸4-15-1)

【主催】 錦糸公園桜まつり実行委員会

【後援】 墨田区 一般社団法人墨田区観光協会
東京商工会議所墨田支部
錦糸町を元気にする会



☆3月23日(土)と4月6日(土)にゴミ拾い清掃やフットサル・ボクシング・野球・ストリートサッカー(6日のみ)をゲーム感覚で気軽に楽しめる体験イベントを行います。
☆期間中の公園ではストリートサッカーの全国大会「第4回全日本PANNA選手権決勝大会」も開催(3月23日)。 詳細は「錦糸町を元気にする会」ホームページへ⇒



錦糸町PARCO5周年「五縁がありました。」



錦糸町PARCOは、3月16日(土)で5周年を迎えます。

【開催期間】3月15日(金)から31日(日)まで

【イベント内容】

5周年を記念した限定商品の販売、
「5」にちなんだセール・イベント、
お買い上げ金額に応じたノベルティ
プレゼントなど、盛りだくさんの
内容で全館を盛り上げます。期間限定ショップも必見です。



5周年記念の限定商品やノベルティ
プレゼント(※写真はイメージです。)

「すみだフードホール」が グレードアップ!

PARCO1階の「すみだフードホール」で3月1日(金)からアルコールを取り扱うお店が増えます。「レストランカタヤマ錦糸町グリル」でワインを、「二代目 野口鮮魚店」で日本酒が仲間入り。「角打ち」で立ち飲みができる酒店「IMADEYA SUMIDA」では上質な日本酒や焼酎を、「ベクタービア」では種類豊富なクラフトビールをこれまで通り提供します。美味しい食事にお酒を加えて楽しみ方がさらに広がります。

詳細は錦糸町PARCOのホームページへ
(イベント情報は3月11日頃から発表します)

錦糸町Worker 7th 街を語る

遠藤浩吉会長(錦糸町プロジェクト推進協議会)

※このコーナーは錦糸町で働く方にこの町との関わりや思いを語ってもらいます。第7回目は、錦糸町で安全安心な環境づくりをめざす地域のまとめ役として活躍してきた「錦糸町プロジェクト推進協議会」遠藤浩吉会長(80)(遠藤硝子株式会社社長)にお話を聞きました。



——「錦糸町プロジェクト推進協議会」とはどんな団体なのでしょう。

遠藤：錦糸町をもっと「商売しやすい」「働きやすい」「暮らしやすい」町にしたいと願う人が住民や企業の垣根を越えて一緒に活動する団体です。墨田区が事務局になり2022年11月に発足しました。町会や自治会、錦糸町商店街振興組合と錦糸町駅周辺の商業施設や営業所を置く企業、ホテルなどが会員になって防犯パトロールや清掃活動を毎月行っています。

——錦糸町にいながら日頃は接点のない人たち同士が繋がりそうですね。

遠藤：そうです。錦糸町は様々な顔を持つ町で、ここで商売をする人、通勤する人、住む人がそれぞれ違った目的で同じ地域にいます。共通の活動を通してお互いの顔を知ると連携や協力を求めやすくなるので、町の活性化も導かれるのではないかと思います。とはいえ、今はボランティア活動が主になる緩やかな結びつきです。

——遠藤さんのお名刺にある「錦糸町地区暴力追放委員会 会長」の肩書が気になっています。こちらの活動についても教えてください。

遠藤：私は20年ほど前に会長職を継いで3代目になるのですが、「錦糸町地区暴力追放委員会」は昭和40年代に錦糸町の環境浄化のために住民と警察で設立した地域団体です。錦糸町は当時まだ暴力団や愚連隊が道の真ん中を堂々と歩いているような状況で、治安面の課題を数多く抱えていました。

——どんな感じだったのですか。

遠藤：私自身は繁華街から少し離れた江東橋一丁目に住んでいたこともあり、危険な場面を直接目にしたことはありません。ただ子どもの頃は「必ず

表通りを歩きなさい」と母親に言われましたし、発砲事件や「青龍刀で薬局のおじさんが・・・」などという物騒な話を近所の出来事として耳にすることもありました。

——“こわい町”の印象を変えたいという地域主体の動きが昔からあったのですね。

遠藤：警察も住民の声がないと動き出せませんからね。1991年に暴力団対策法ができてからはだいぶ落ち着きましたが、警察のサポート下で繁華街を練り歩いて「客引き禁止」などを呼びかける防犯パトロール活動は、現在まで続いています。

——それが「錦糸町プロジェクト推進協議会」の活動として繋がっていくのですね。

遠藤：関係者が高齢化して夜の活動に参加者が減ってきたことで「このままではいけない」という危機感がありました。現在は江東橋連合町会や錦糸三和町会、「南口を考える会」と一緒に4団体で錦糸町駅の南北地域にパトロール範囲を広げて行っています。会社に勤める人も参加してくれています。

——近年は錦糸町地域もファミリー層の居住者が増え、便利な町として人口も増えてきました。今とこれからの錦糸町についてどう考えていますか。

遠藤：46歳から14年間江東橋一丁目町会会長を務めた時に、町会に参加してもらうためマンションに住む人たちに熱心に働きかけを行ってきたおかげで、今は会社勤めの優秀な人材が役員を引き受けて戦力になってくれています。子育てにより町と感じて長く住んでほしいですね。安全安心の取り組みに終わりは見えないけれど、この動きを止めてはいけません。みんなで協力してどんどん進めていかねばと思っています。



錦糸町駅南口の繁華街を
防犯パトロール

訂正：「わくわく通信」2023年12月号の「墨田区長に聞いてみました！」で、錦糸町を元気にする会について「法人化から10年を迎える」は「設立から10年」の誤りです。